

めざす子ども像		地域を愛し、地域に貢献するために目的意識をもって課題を解決していこうとする生徒			
学年・学期における探究課題		地域の課題を発見し、解決に取り組む			
単元名		井原市活性化プロジェクト（全8時間＝実施時期：9月～10月）			
単元のねらい		「井原市の現状を把握し、夢や願いを叶えるため、「①井原の観光」「②井原の農林業」「③井原の商工業」「④井原のまちづくり」の4つの視点からプロジェクトを考え、発表することで『いばら愛』を育む。			
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		1・2年で学習してきたことを整理して地域の課題について分析し、学習課題を設定する。	個人で調べたことを班で整理し、各班ごとに設定した課題について調べる。	調べてきた情報を分類整理する。	井原市の活性化に向けた具体的な取り組みを考え、地域に発信する。
仕掛け・工夫	もの	1年の時に取り組んだ郷土学習を活用する。	可能な班は、実際に地域に出向き、現地調査をする。		井原放送などに発信の協力を依頼する。
	ひと		地域や家族から話を聞く。	地域の方からアドバイスをもらう。	
	しごと (こと)				
	その他				
引き出した姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	1・2年で学習してきたことを整理する中で、井原の魅力を再発見する。	設定した課題を調べて行く中で、「いばら愛」を育む。		地域に発信することで、「いばら愛」を育む。
	やり抜く力 <small>(向上心と忍耐力)</small>			情報を収集する中で、ふるさと井原の未来を想像し、自分たちにできることを考える。	
	まき込む力 <small>(発信力と協働性)</small>				
アウトプットの工夫					

◆ 実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

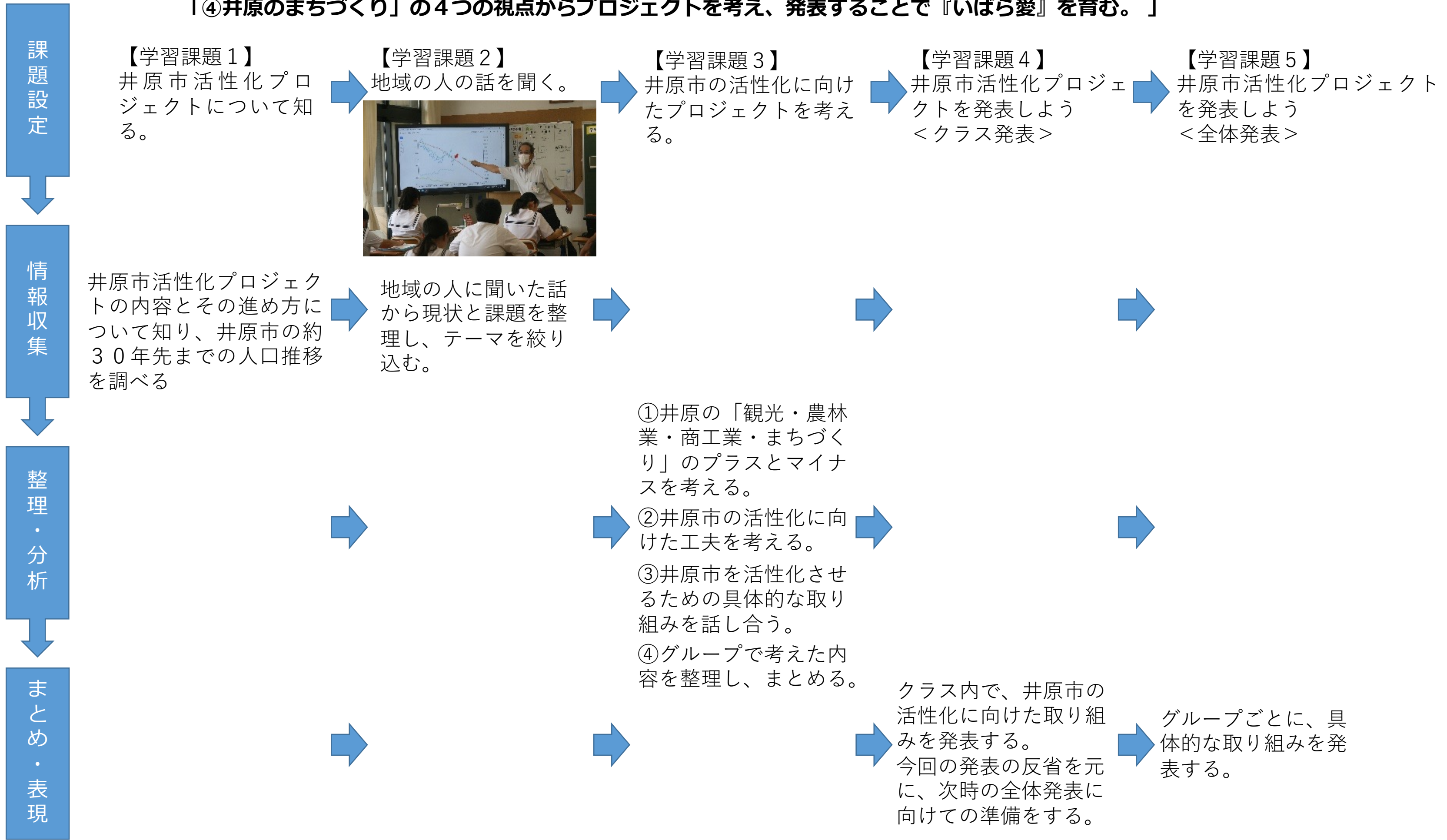
国語 社会 技術

◆ 実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等

井原市役所（市民活動推進課） 井原商工会議所 井原市森林組合
市内事業所（JA井原、一丸タクシー）

〈R5〉井原中学校・3年 単元名『井原市活性化プロジェクト』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【平田修一】

◆単元のねらい「井原市の現状を把握し、夢や願いを叶えるため、「①井原の観光」「②井原の農林業」「③井原の商工業」「④井原のまちづくり」の4つの視点からプロジェクトを考え、発表することで『いばら愛』を育む。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 商工会の方々の協力により、探求への活動につながった。生徒が主体的に活動でき、4つの視点（観光・農林業・商工業・まちづくり）から学習することができた。繰り返し発表する場を設けることで、発表が苦手な生徒にも発表ができた。
- △校内の発表に留まり、地域へ発信できなかった。
- ☆3年間見通した計画的な取り組みが必要である。（その年ごとの計画となっていた）